

平成28年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	民間事業者と協働して行う地域福祉・健康づくり事業経費			担当部局庁	政策統括官(総合政策担当)		作成責任者			
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	平成31年度	担当課室	社会保障担当参事官室		度山 徹			
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	経済財政運営と改革の基本方針2015 まち・ひと・しごと創生総合戦略(2015年改訂版) ニッポン一億総活躍プラン(平成28年6月2日閣議決定)					
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)の手法(※)の有効性等を国が検証することで、各自治体が地域の社会的課題に対して問題提起から解決までを自律的に解決する仕組みを普及することを目指す。また、創意工夫ある社会的取組のうち全国展開が可能なものについては、成果連動型評価の導入など予算事業等の改善に繋げる。 (※)行政、社会的投資家、NPO、評価機関等が連携して社会的成果に基づく質の高いサービスを提供することが目的。NPO等の主体が民間投資家からの出資を得た資金でサービスを提供し、成果が上がれば行政が投資家にプレミアムを付けて償還する。成果は定量的に評価される。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	民間事業者が創意工夫ある取組を行う際の資金調達手段の1つであるSIBの手法について、地域福祉・健康づくり分野(健康づくり、生活困窮者施策、児童福祉施策、地域コミュニティづくり等)において、3か年のモデル事業を実施し、手法の有効性や課題検証等を行う。 具体的には、①関係者が具体的な検討を進めていく場の構築②成果指標や成果達成度合いに応じた成果報酬の設定③民間資金提供者からの出資の呼びかけ④NPO等によるサービスの提供⑤サービス提供に関する評価と成果達成度合いに応じた支払⑥成果指標等の再検証を行う。その後、更に②～⑥のプロセスを繰り返し、より精度の高い検証を行う。									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額(単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	151			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		0	0	0	0	151			
執行額										
執行率(%)		-	-	-	-	-				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標最終年度	
	予算編成過程で検討	予算編成過程で検討	成果実績	-	-	-	-	-	31年度	-
			目標値	-	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	予算編成過程で検討	活動実績	-	-	-	-	-	-		
		当初見込み	-	-	-	-	-	-		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	予算編成過程で検討	単位当たりコスト	円	-	-	-	-	-		
		計算式	-	-	-	-	-			

(年度予算内訳 単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	庁費	-	151						
	計	0	151						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策											
		施策											
		測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 年度			
	実績値		-	-	-	-	-	-	-				
	目標値	-	-	-	-	-	-	-					
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
	-												
	経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-								
			(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度		
		成果実績		-	-	-	-	-	-	-			
目標値		-		-	-	-	-	-	-				
達成度		%	-	-	-	-	-	-					
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度				
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-				
		目標値	-	-	-	-	-	-	-				
達成度		%	-	-	-	-	-	-					
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係													
-													

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	SIBの手法を活用することにより、行政の手が行き届きにくい予防的介入等の分野における課題を解決することや、行政が設定する報酬基準等に該当しない新しい取組について、民間事業者による創意工夫ある取組の促進が期待できる。これにより、行政は民間事業者が行う、より高い水準のサービスに対して、支払を行うこととなる。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	地域福祉・健康づくり分野等において、SIBの手法の有効性や課題等の検証を行い、将来的には成果連動型評価の確立や成果に基づき報酬を支払う仕組みの制度化を検討し、各自治体や民間事業者による自律的な実施が展開されることが期待できる。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	-	-
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	-			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
外部有識者点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。				
	<pre> graph TD A[評価機関] --> B[厚生労働省 151百万円] B --> C1[中間支援組織(分野A)] B --> C2[中間支援組織(分野B)] B --> C3[中間支援組織(分野C)] C1 --> D1[地域1(自治体・NPO等)] C2 --> D2[地域2(自治体・NPO等)] C3 --> D3[地域3(自治体・NPO等)] D1 --> E1[民間資金提供者α] D2 --> E2[民間資金提供者β] D3 --> E3[民間資金提供者γ] </pre>				
	※中間支援への委託数、地域数等については予算編成過程において検討				

